

## 第4段階 ガリラヤの大宣教

### E. 十二使徒の任命と「山上の教え」

#### 5. 山上の教え、第4部：

愛は性、結婚、約束を守ることに對して正しく對處する

デイリージーザスニュース #071

基本テキスト: MT 5. 27-37 (並行テキスト: なし)

27 「『姦淫してはならない』と言われていたことは、あなたたちの聞いているところである。(出エジプト記 20:14)」

28 しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも情欲をいだいて女を見続ける者は、心の中ですでに姦淫を犯したのです。

29 もしあなたの右の目があなたを罪に陥れるなら、えぐり出して捨てよと命じる。体の一部を失っても、全身が地獄に投げ込まれるよりはましである。30 もしあなたの右の手があなたを罪に陥れるなら、切り取って捨てよと命じる。体の一部を失っても、全身が地獄に投げ込まれるよりはましである。

31 「『妻を離婚する者は、必ず離婚証書を渡さなければならない』と言われていました。(申命記 24.1)

32 しかし、わたしはあなたがたに言います。不品行のゆえでないのに妻を離縁する者は、その妻を姦淫の女とするのであり、離縁された女をめとる者は、姦淫を行うのです。

33 「また、昔から人々にこう言われていたのを、あなたたちは聞いている。『誓いを破ってはならない。主に対して立てた誓いは果たせ。』」(申命記 23.21)

34 しかし、わたしはあなたたちに命じる。決して天をさして誓ってはならない。そこは神の御座だからである。35 地をさして誓ってはならない。そこは神の足台だからである。エルサレムをさして誓ってはならない。そこは大王の都だからである。36 また、自分の頭をさして誓ってはならない。あなたは髪の毛一本さえも白くしたり黒くしたりすることはできないからである。

37 」あなたが言うべきことはただ『はい』か『いいえ』だけです。それ以上のことは悪魔から来るのです。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルーク = L、ヨハネ = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、イエスの言葉は赤の斜体で表記されています。旧約聖書からの引用は大文字で表記されています。

コンテキストダイジェスト

## 第4段階 ガリラヤの大宣教

位置	ガリラヤの山で
タイムライン	西暦31年5月 ( 第16月 )
イエスの生涯	第4段階: ガリラヤの大宣教
	E. 十二使徒の任命と「山上の教え」
タイトル	5. 山上の教え、第4部： 性、結婚、約束を守ることにける心の純粋さ

コメント：

神の愛における怒りと壊れた関係の問題を扱った後、イエスは次に、神の義によって律法を成就するようになった経緯を示す3つ以上の例を挙げました。イエスが「**あなたがたも聞いたことがある**」というフレーズを使って、性的純潔 (5.27)、結婚/離婚 (5.31)、約束の遵守 (5.33) という関連する問題を紹介しているのがわかります。これら3つの問題は密接に関連しており、イエスはここで自然な流れでそれらを説明していきます。

もう一度言いますが、問題は、律法の文面を単に遵守することと、神の愛に生きることによって生み出される真の心の正義との違いです。イエスは私たちが愛で満たすことによって律法を成就するために来られました。

十戒の7番目 ( 出エジプト記20章14節 ) は、姦淫を避けることでした。殺人と同様、肉体的な姦淫を避けるだけでは律法をまったく満たしていないことをイエスは明らかにしました。正義は私たちの態度、つまり心の問題です。ですからイエスは、結婚していない人と性関係を持ちたいという内なる衝動が、それが一貫して続く欲望である場合、肉体的な行為を犯すのと同じことだと説明しました。

「欲望」を評価するには、2つの疑問があります。まず、それは継続的で一貫した欲望ですか？ イエスはここで、持続的で継続的な憧れを表す動詞の時制を使用しました。言い換えると、その人は欲望に浸っているということです。次に、状況が許せば、「欲望」を抱いている人は間違いなくその欲望に従って行動するでしょう。特に、それが秘密にできる場合はそうです。「欲望」が物理的に満たされるのを妨げるのは、行動する機会だけです。

イエスは、行動したいのにできない欲望を抱くことは、実際に行動することと同じだと言っています。私たちの心の欲望が私たちの清らかさを決めるのであって、肉体的な行動だけではありません。ですから、イエスは、病気になった身体に対処するのと同じように、心の欲望にも毅然と対処するようにと私たちに命じたのです。

イエスは、心の清らかさを得るために肉体の切断を推奨していたのではありません。イエスは、それがいかに無益であるかを知っている方です。なぜなら、イエスは私たちの心を知っている方だからです。むしろ、イエスは、命がかかっているときに、私たちの体を断固として扱うのと同じように、心を断固として扱うようにと私たちに告げているのです。もし私たちが癌にかかっているなら、私たちはそれを切除します。もし私たちの心が不純なら、同じ断固たる態度でその霊的な癌を切除しなければなりません。

## 第4段階 ガリラヤの大宣教

性的なことにおける心の純潔について考えると、結婚、あるいは離婚によるその終結について考えることに繋がります。なぜなら、結婚は性的な関係を持つ唯一の適切な状況だからです。これは、イエスが宣教活動の中で離婚（および結婚）について述べた3つの言葉のうちの最初の言葉でした。（他の2つは、ルカ16:18とマルコ10:1-12/マタイ19:1-12です。）

イエスの同時代人は、離婚がそれを規定する法律（申命記24.1）に従って行われる限り、離婚を何ら悪いことだとは考えませんでした。言い換えれば、離婚が法的手続きに従っている限り、離婚して再婚することは彼らにとって完全に正しい行為でした。適切な書類が処理されている限り、失敗や罪は関係ありませんでした。しかし、これは本当に正しいことなのでしょうか。

イエスは再び問題の核心に迫りました。離婚という行為は、イエスの考えでは、パートナーに対する究極の不貞の表現です。適切な法的手続きに従うだけでは、離婚は正しい行為にはなりません。理由が何であれ、離婚には、結婚生活を始めた相手に対する無条件の愛と献身を放棄することが含まれます。その献身を放棄する決断をすることは、肉体的な姦淫を犯したかどうかにかかわらず、姦淫を犯すことに似ています。

ここでイエスは、離婚は許されない罪だと言っているのではありません。また、再婚は本質的に間違っているとも言っていない。イエスが言っているのは、結婚の解消は深刻なことであり、悲劇であり、必然的に愛の欠如を伴うということです。性的な純潔と同様に、夫婦の誠実さは心の問題です。適切な法的手続きを踏むだけでは、離婚が神の前で本質的に正しいものになるわけではありません。真の心の正義は、正しい法的手続きに従うことよりもはるかに重要です。それは、イエスがまず私たちを愛してくださったように、お互いを愛することの問題です。イエスがまず私たちを愛してくださったように、両者がお互いを愛することに失敗したことを認めずに、離婚で結婚を終わらせることはできません。

結婚は契約であり、約束です。そこでイエスは次に誓いを立てることについて語りました。イエスの時代の人々は、神、神殿、聖都など、自分たちよりも信頼できるものに基づいて誓いを立てることに慣れていました。イエスは、そのようなことはどれも良いことではないと言いました。その代わりに、私たちは単純な「はい」または「いいえ」だけで十分であるほどの誠実さを持つ人になるよう努めるべきです。私たちは、神がそうであるように、約束を守ることで知られる人になるべきです。私たちの言葉だけが信頼できないのであれば、それは私たち自身が信頼できないことを意味し、私たちは変わる必要があります。もう一度言いますが、これは心の問題です。

イエスは、単に外面的な振る舞いではなく、心の純粋さとしての正義を強調することで、同時代人々の一般的な文化的期待をひっくり返しました。私たちの心を全知で見て完全に知っている神だけが、内面の純粋さについてイエスのように語ることができます。

**「あなた方はこう言われているのを聞いたことがある」と繰り返したとき、彼は旧約聖書を指していたことに注目してください。それから彼は言いました。「しかし、私はこのことをあなた方に言います」**イエスは、自分の言葉を聖書と同等にするだけでなく、聖書よりも優れたものとしていました。なぜなら、イエスは自分の言葉を旧約聖書の意味の標準的な理解としたからです。これは権威に対する神の重大な主張でした。それは、イエスが神だけが知っているように私たちの心を知っており、言葉を与えた方だけが解釈する権威を持っているように聖書を解釈していると主張したことを意味します。これらの発言は神の主張でした。

## 第4段階 ガリラヤの大宣教

応用：

性的な純潔は心の問題です。結婚生活を築くのも同様です。約束を守ることによって知られる人になることは個人の誠実さの基盤であり、これもまた心の問題です。

神の無条件の愛の中で生きることは、人生のそれぞれの領域において大きな違いをもたらします。その違いとは、信仰によってイエスに従う人々の内に形成される神の義なのです。

イエスの性的純潔に対する見方はあなたにどのような影響を与えますか？

離婚を姦淫とみなすイエスの見解は、あなたにとってどのような意味がありますか。

約束を守る人であることは、あなたにとってどのような挑戦ですか？

わたしたちが失敗したときに許しを与えて下さる神と、わたしたちの心を変えてくださる神の恵みに感謝しましょう。もう一度言いますが、だからこそ、悲しみ、心の貧しさ、義に飢え渴くこと、そして柔和さは、イエスに従う者にとって必要な態度であり、わたしたちを真の満足へと導くのです。